

第 68 回 日本木材学会大会 学生優秀口頭賞

A14-03-1530 (京都大学)毛笠貴博

①スライド作成で工夫した点

情報学的な手法の説明において、なるべく多く図表を使い、また専門的な言葉を減らすことで理解しやすいスライドを作ることを心がけた。

②スピーチで工夫した点

SIFT(Scale-invariant Feature Transform)の説明においては、手法の詳細について事細かく説明するわけではなく、要点だけを説明し、結果の解釈についての説明を重点的に行った。

③練習方法

話さなければならないキーワードだけをきちんと押さえ、原稿を作らずに発表にのぞんだ。そうすることで淡々と機械的に内容を話すわけではなく、抑揚をつけて相手の注目を引きつける発表を行えるよう練習した。また、質問されやすそうな点についてはあらかじめ解答を準備し、さらにどんな質問が来ても対応できるように発表内容についての理解を深めた。